

第3学年 図工科学習指導案

題材名 かたちか うまれた (自然を生かした作品作り・川原の石を使って 4～6時間)

目標

- ・ フリードマンの作品を見ながら、工夫している点に気づき、作品づくりに意欲をもつ。
(鑑賞の能力)
- ・ 川原の石を並べたり積んだりして組み合わせながら、石や砂で形をつくることに意欲をもつことができる。
(関心・意欲・態度)
- ・ 石や砂を組み合わせる操作から、何かに見立てたり、組み合わせを考えたりして形をつくることことができる。
(発想や構想の能力)

指導と評価の計画

時	活 動	主な評価の観点
1 ～ 2	つかむ ○「あいちトリエンナーレ」でトム・フリードマンの作品を鑑賞する。 ・ 作品から気づいたことを話し合う。 ○身近にある材料を使って組み合わせながら形を作っていくことで作品にしていることを知る。	○身近な材料を使った作品作りに興味、関心を示している。 (発表から)
2 ～ 3	ひろげる ○川原の石や砂を、並べたり積んだりして立体的な形にする。 ・ いろいろな方法を試し、形を工夫する。 ・ 出来上がりの形を予想しながら作品作りをする。 ・ 自分の思う形に整えていく。 ・ 工夫をしながら、美しく形を整える。その他の身近な材料を活用する。	○石や砂の特質などから工夫して作ることができている。 (巡視・制作にあたっての相談等)
1	まとめる ○鑑賞 ・ 自分(自分たち)の作品でうまくいったところ、良いところを確認する。 ・ 友だち(他のグループ)の作品の良さを感じ合う。 ・ 見せたい方向からの写真撮影をする。 (題名札作成)	○友だちと語り合ったり、思いを書いたりして良さを確かめあう。 (ワークシート・話し合い・名札作り等)

※自然を生かした作品作りとして、本校の北を流れる名倉川の石と砂を主な材料としてとり上げたが、材料は大量に手に入る物であれば何でも可能である。自然にあるものに限らず人工物でも実施できる。